

1

19

地域に根ざした福祉の取組が高く評価

## 中央募金会会長表彰を受賞

沼田町共同募金委員会（松田剛委員長）が11月12日（水）東京都で開催された全国社会福祉大会において、中央募金会会長表彰「優良団体表彰」を受賞しました。

この表彰は、共同募金運動を通じて地域福祉の向上に継続的に取り組み、顕著な成果を上げている団体に贈られるもので、長年の共同募金活動や地域に根ざした福祉の取組が高く評価されました。表彰にあたり松田委員長は「町民の皆様をはじめ、関係団体やボランティアの皆様の温かいご支援とご協力の賜物です。今後も共同募金運動を通じて、誰もが安心して暮らせる地域づくりに取り組んでまいります」と話されました。



1

27

米と日本酒で1位

## 3町うまいっしょグランプリ

北竜町・雨竜町・沼田町の3町とＪＡきたそらち（北竜支所、雨竜支所）ＪＡ北いぶき（沼田支所）で組織する3町営農改善推進協議会（会長 横山町長）が主催した、「3町うまいっしょグランプリ」が1月27日（火）沼田町で開催されました。

令和7年産の新米「ゆめぴりか」・新そば「きたわせ」、酒米で造った日本酒を3町それぞれが競い、米の炊き上がりなど同じ条件のもと食べ飲み比べが行われました。

厳正な審査が行われ、投票の結果、米・日本酒の2部門で沼田町が2年連続の1位となり、そば部門では2位に輝きました。



1

30

全勝を目指して

## ソルベルテMBC表敬訪問

沼田町、秩父別町、妹背牛町の合同バスケットボールクラブ「ソルベルテMBC」が2月7日（土）、8日（日）深川市で開催される第4回北海道ブロックミニバスケットボール大会に出場することから、「ソルベルテMBC」メンバーである沼田小学校（吉田純一校長）児童6名が沼田町役場を訪れました。

チームメンバーを代表して沼田小学校6年生の川嶋皐月さんは「冬の全道大会では優勝できなかった分、全勝目指して頑張ります」と力強く話し、横山町長は「日々の練習の成果を十分に発揮し、頑張ってください」と激励されました。



2

夜の駅舎を彩る

7

## エキアカリ2026@石狩沼田駅

2月7日（土）石狩沼田駅でアイスクャンドルや紙袋ランタンで駅舎を彩る「留萌本線エキアカリ2026」が開催されました。

駅構内ではポストカードなどの配布や町特産品販売が行われ、駅前では豚汁の無料配布、駅そば販売のほか、ほろしん地区PRブースが設けられ、コーヒー・ココアの無料提供やコハク探し体験会が開催され、多くの鉄道ファンや地域住民の笑顔や活気で石狩沼田駅を盛り上げました。



2

高穂スキー場で冬を満喫

8

## 第76回町民スキー大会

沼田町スポーツ協会（伊藤淳会長）が主催する「第76回町民スキー大会」が2月8日（日）ASHIMOIKANKO高穂スキー場で開催され、来場者約250名で賑わいました。

大会は、大回転競技（スキー・スノーボード）で組別ラップ（2本のタイムが速い方が上位）と個人タイム差（2本のタイムの差が少ない方が上位）の2部門で競い合いました。

午後からは、N - l i n k による、「大人の雪中バー&運動会」やスキー・スノーボードの無料レッスンが行われ、大人も子どもも様々な形でウィンタースポーツを楽しみました。



2

5つのテーマに分かれて発表

10

## 地域課題解決型産学官連携授業成果報告会

令和7年5月に産学官連携協定を締結した旭川工業高等専門学校（旭川工業）の電気情報工学科4年生が沼田町や北海道が抱えている地域課題に対して、課題解決事例を提案する発表会が2月10日（火）開催されました。

会場では、同じく産学官連携協定を締結したハイテクインター株式会社の職員や町民参加者が、屋根の雪下ろし中の落下事故対策やAI役場など5つのテーマ発表を自由に見て回りました。横山町長は「住民サービスの向上に繋がるようこれからも3者が連携して取り組んでいきたい」と話されました。



2

11

第7回全日本（笑）

## オールドスタイルスキー技術交流会

1980年～90年代の用具や当時のスキーウェアを着てスキーを楽しむ第7回全日本（笑）オールドスタイルスキー技術交流会が2月11日（水・祝）

ASHIMO I KANKO高穂スキー場で開催されました。

道内各地からスキー愛好家が約40名参加し、昔ながらの細く真っすぐなスキー板でウェーデルンやパラレルターンなどの技術を競い、当時の思い出話に花を咲かせながら楽しく滑っていました。



2

13

毎年の寄贈に感謝

## JA北いぶき女性部沼田支部からタオル寄贈

JA北いぶき女性部沼田支部の田坂智恵美支部長と役員3名が2月13日（金）沼田町役場を訪れ、町にタオル45枚の寄贈をしていただきました。

この活動は、地域貢献活動の一環として毎年行われおり、タオルを寄付することで地域住民の生活を少しでも豊かにしたいという役員の方々の温かい思いが込められています。

タオルを受け取った横山町長は「今年もありがとうございます。介護施設などで大切にに使わせていただきます」とお礼を述べました。

タオルは、和風園や旭寿園等の施設で使わせていただきます。



2

18

球児のパワーで雪を撃退

## クラーク高校野球部地域貢献除雪作業

クラーク記念国際高等学校野球部の部員11名が、2月18日（水）地域貢献活動の一環として、旭町地区に所在する高齢者住宅の除雪ボランティアを行いました。

沼田町の降り積もる雪に苦勞する住民の方々のために、部員たちは声を掛け合いながら重い雪をスコップで運び、汗を流しながら一生懸命に除雪を行いました。



2

スマート農業で拓く未来

19

## 3 町営農改善推進協議会研修会

北竜町・雨竜町・沼田町の3町とJA北空知（北竜支所、雨竜支所）JA北いぶき（沼田支所）で組織する3町営農改善推進協議会（会長 横山町長）が2月19日（木）「3町営農改善推進協議会研修会」を開催されました。

研修会では、株式会社スマートリンク北海道のこばやし のぶゆき小林信行常務取締役が「新しいスマート農業技術」と題して講演いただき、その後、町農業推進課の山崎永尋農業技術指導員が沼田町で実証実験を行っている稲の初冬直播き栽培について「省力栽培技術の取り組み事例」と題し、紹介いただき、参加された農業者などは熱心に耳を傾けていました。



2

元気を取り戻す暮らし

20

## 認知症フォーシーズン【冬】

沼田町で学ぶ認知症フォーシーズン【冬】が2月20日（金）開催されました。

今回は、「元気を取り戻す暮らし～介護が必要になっても楽しみはいっぱい見つかる～」をテーマに全国各地の介護施設へ赴きアドバイザーとして活躍されている青山幸広氏あおやま ゆきひろによるご講演が行われ、50名が参加されました。

講演では、自身の介護の考え方や認知症介護のポイントなど経験談を交えて、楽しく、分かりやすくお話しいただき、会場ではたびたび笑いが起こる和やかな講演会となりました。



2

沼田町の魅力をPR

25

## 沼田町視察ツアー

「沼田町視察ツアー」が2月25日（水）～27日（金）の3日間開催され、東京や東海地方に本社を置く4社が参加されました。

この視察ツアーは、産業振興と雇用の場の創出を行う企業誘致の一環で、町内に企業進出を検討する町外企業の経営者らを沼田町に招き、沼田町の魅力を肌で感じていただくために行われています。

参加者は、町内企業との交流や沼田町サテライトオフィスなどの施設見学を行い、企業進出に向けたイメージを深めていただきました。



2

「沼田町」を他市町村と比較

26

## 5年生総合的な学習「沼田学」成果発表会

沼田小学校（吉田純一校長）5年生が総合的な学習の時間「沼田学」で、北海道の他市町村について調査し、沼田町との共通点や相違点を比較する学習に取り組み、その成果発表会が2月26日（木）に行われました。

発表では、「暮らし」「自然」「観光」「産業」の4班に分かれて、他市町村と比較して沼田町の現状を分析し、保護者らが見守る中、調査で見た沼田町の強みを活かした独自のコラボ企画や町活性化のアイデアを発表されました。



3

攻めた滑りで入賞を目指す

4

## 伊藤選手全日本ジュニアスキー選手権出場

沼田小学校（吉田純一校長）6年生の伊藤千咲<sup>いとうちえみ</sup>さんが3月24日（火）から29日（日）まで上士幌町で開催されるJOCジュニアオリンピックカップに出場することから3月4日（水）役場を訪れました。

伊藤さんは「攻めた滑りで入賞できるように頑張りたいです」と挨拶され、横山町長は「全国大会出場おめでとうございます。日々の練習の成果を十分に発揮して精一杯頑張ってください」と激励されました。



3

今年も美味しいお酒に

9

## 「雪なごり～瑞華～」の原酒を搬出しました

昨年12月16日から約3カ月、雪の科学館に貯蔵していた「雪室熟成純米酒 雪なごり～瑞華～」の原酒が3月9日（月）に搬出されました。

雪の科学館で約4,000リットルが貯蔵され、貯蔵されたお酒は、口当たりがまろやかになり、角の無いど越しの良いお酒になります。

搬出された「雪なごり～瑞華～」は、4月10日（金）から販売されますので、ぜひお手に取っていただきご賞味ください。



3

ふるさとからの贈り物

9

## 中学3年生への町長講話・卒業記念半纏贈呈

卒業を迎える沼田中学校（吉田久校長）3年生15名に、卒業記念として地域文化の象徴である夜高あんどん祭りの藍染の半纏が贈呈されました。

この取り組みは、卒業生と地域との繋がりを深めることを目的とし、卒業生がいつでもふるさとを思い出し、地域との絆を感じられるようにと願いが込められています。

横山町長からの講話では、良い人間関係を作るコツや自身の幸福度を高めるためにはどうしたらよいか等を生徒たちに伝えました。



3

2年振り2度目の世界一

9

## NMTが昭和新山国際雪合戦で優勝！

町内の雪合戦チーム「NMT」が、2月21日（土）、22日（日）に壮瞥町で開かれた第37回昭和新山国際雪合戦の優勝報告に3月9日（月）役場を訪れました。

昨年出場した第36回大会では、3位という悔しい結果で終わってしまいましたが、厳しい練習を重ね、2年振り2度目となる世界一を掴み取りました。

今大会MVPとなった主将の馬狩柊斗うまかりしゅうとさんは「昨年は連覇することができなかったのもう一度、優勝するために各大会、練習など頑張ってきました。ベストな状態で今大会に臨み、優勝することができて良かったです」と話されました。



## 絆づくりメッセージコンクールで 山下芽夏さんが全道最優秀賞を受賞

青少年からいじめやネットトラブルの根絶を目指し、よりよい人間関係づくりを呼びかける「絆づくりメッセージコンクール」の表彰が3月9日（月）に沼田中学校（吉田久校長）で行われました。

思いやりをもって人と接する社会の実現に向けた意識の向上を図ることを目的として実施され、ポスター部門で全道最優秀賞に輝いた沼田中学校3年生の山下芽夏やましためいかさんに表彰状が手渡されました。

山下さんは「過去に人間関係で悩んでいた時期があったので、その経験をポスターに表現しました。入賞すると思っていたいなかったので、最優秀賞になることができて嬉しかったです」と話されました。



# 3月1日に着任された 地域おこし協力隊を紹介します

## まつだ あきしげ 松田 哲繁さん

北海道森町出身で映画鑑賞が趣味の松田さんは、合同会社 R e n e e で商工業支援員として活動をしています。

今後、沼田町の食材を活かした季節料理や体験企画、地域連携を進め、「沼田の食」のブランド化に取り組んでまいります。



## やまこし けいすけ 山腰 啓介さん

北海道旭川市出身でアウトドアが趣味の山腰さんは、合同会社 m a c h i c e n で商工業支援員として活動しています。

今後、地域食材の魅力発信と、農業・食関連産業との連携による地域経済の活性化のため、積極的なプロモーション活動を実施し、交流人口の拡大や町内の魅力発信にも精力的に取り組んでまいります。



## 沼田町監査委員より定期監査の報告

去る、2月3日から6日までのうち3日間、沼田町監査委員による、沼田町の令和7年度会計（4月1日～12月31日まで）の定期監査を行いました。

これは、地方自治法第199条の規定より、町の事務・事業の執行状況とともに町のお金が住民のために最小限の経費で最大の効果を上げるよう効率的に使われているかを監査したものです。

監査の結果、事業の執行及び財務事務等全般については、適正に執行されていると認め、報告いたします。

沼田町代表監査委員 高 田 勲  
沼田町監査委員 長 野 時 敏